

特別例会「鎌倉散策」

(令和元年11月26日(火)・29日(金))

今回の特別例会は、「錦秋の北鎌倉…歴史ある寺院巡り」ということで、北鎌倉の円覚寺から鶴岡八幡宮までを散策しました。残念ながら“錦秋”とはいきませんでした。所々に色づいた紅葉を見ながら古都鎌倉を散策し、最後は、大正30年創業の鎌倉を代表する和食の名店「峰本」で天麩羅御膳をいただきました。

天候にも恵まれ、2回の例会で合計100人という多くのお客様にご参加いただきました。



集合は、JR横須賀線北鎌倉駅

北鎌倉駅東口の改札口は、改札が無くパスモのタッチセンサーが立っているだけ。ホームを下りたら目の前がすぐに線路と言うローカルな小さな駅、隣の鎌倉駅とは全く雰囲気が異なりました。横須賀線は、円覚寺の参道を分断しています。



分断された参道



円覚寺

北鎌倉駅を降りると、そこは円覚寺！臨済宗円覚寺派の総本山で鎌倉五山第二位。その格式どおり今もなお鎌倉有数の巨刹で、国宝の舍利殿や洪鐘、季節の花々、座禅会も随時開催され見どころ満載のお寺。総門への参道入口はちょっとだけ色づいていました。



総門



舍利殿(国宝)



龍隠庵からの展望



仏殿



山門

東慶寺



恋や婚活に迷ったら訪れたいパワースポット！

東慶寺は、鎌倉尼五山の第二位の寺院で、江戸時代、“縁切寺”としての役割を果たしていました。封建時代の世の中では、女性の地位が低いために、妻からの離縁はご法度…そこで離婚したい女性のための駆け込み寺として多くの女性を救済してきたのが東慶寺で、三年間奉公をすれば離縁できるという「縁切寺法」があったそうです。

浄智寺



鎌倉五山第四位で、かつては大いに栄えたお寺でしたが、現在は方丈など一部の建物を残すのみです。門の手前には鎌倉十井の一つ「甘露の井」があります。



石橋と甘露の井



鐘楼門



方丈内の円窓(悟りの窓)



方丈(円窓撮影の行列)



臨済宗建長寺派の寺院で、通称「あじさい寺」と呼ばれ、「明月院ブルー」の愛称でも親しまれています。あじさいの咲く季節になると毎年多くの観光客の方が訪れるスポットとなっています。

6月のアジサイの時期には境内一面にアジサイで埋め尽くされ、特に山門前の参道は人で混雑します。

建長寺



総門



三門(重要文化財)



梵鐘(国宝)



方丈の庭園(国名勝)



法堂(重要文化財)



本尊(仏殿)



栢槇



唐門(重要文化財)

建長寺は、禅宗の寺格を示す鎌倉五山第1位の名刹で臨済宗建長寺派の大本山。今から約760年ほど前、鎌倉幕府5代執権北条時頼が建立した日本で最初の禅の寺院です。14・15世紀に起こった数度の火災によりその多くが焼失し、現在のほとんどは江戸時代に再建されたものですが、境内は国の史跡に指定されています。総門、三門、仏殿、法堂が一直線に並んだ宋風の配置が特徴です。現在も多くの僧侶が厳しい修行を続けているそうです。

鶴岡八幡宮



本宮(重要文化財)

古都・鎌倉の代表的な史跡と言えば、「鶴岡八幡宮」!

約800年もの歳月と伝統が薫る境内のここかしこに、歴史の足跡や四季の趣など必見スポットがたくさんあります。年間を通して、国内外から全国の神社の中でも有数の参拝者が訪れ、中でも初詣の参拝者数は約250万人とも言われています。ご利益は、開運、家内安全、必勝祈願、仕事運向上、縁結び等々…たくさんありますね!



源平池に架かる太鼓橋

最大の楽しみは昼食です!



食事を楽しむお客様

何と言っても特別例会の最高の楽しみは昼食です。今回は、鎌倉を代表する和食の老舗 峰本の「そば天麩羅御膳」でした! 皆さん、談笑しながら食事を楽しんでいらつやいました。



最後に、皆さんをご案内したガイドです…



朝のミーティング



受付



駅誘導



反省会(食事はお預けです)



ガイド風景



やっと食事です!

